

平成30年7月23日

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木幸彦

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修** ・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

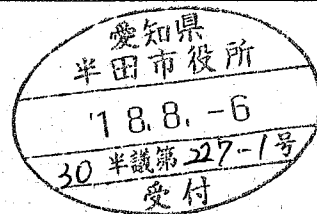
目的は達成できた。

- ・人間が元々持ち合わせている「正常化の偏見」ポジティブな考え方(自分は大丈夫)は、災害時には災いとなる。→都合の悪い情報を無視。災害を過小評価する。災害時この偏見に打ち勝たないと人命に関わる大きな被害を増やす。災害時、議会はこの偏見を打ち破り、地域住民の一人でも多くの命を救うことを心がけること。
- ・応急対策マニュアルはより具体的に。避難所から本部への情報の例として「明日の朝、朝食が何食いるか」こういう明確な情報を出せるようなマニュアルにすること。併せて、市職員は、登庁する役職ではなく、実際誰が来られるのか具体的に把握しておくこと。但し、マニュアルを作ることより、危機時にマネジメントできる人間をどう作るかが重要だ。
- ・すべて頼るのではなく、自助共助の取り組みで、行政(市職員、警察、医療職)の負担を軽減することにより、行政本来の業務継続の実効性を高めることができる。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- 行政と議会は、心を合わせ同じ方向性で応急対策期を乗り越えること。
- 議員は、初動として自身の安否を携帯電話以外のツール(ライン等)で事務局に連絡すること。
- 議長は災害対策本部メンバーには入れず、議会事務局長を通じて情報のやりとりをすること。地域の要望は、避難所を運営する自主防災会と十分協議し取りまとめ、決して担当課へ議員が直接連絡をしないこと(災対本部を混乱させない、邪魔をしない)
- 非常時であっても良好なコミュニケーションがとれるよう、日頃から名前呼び合えるような地域づくりをしておくこと。(地域を知る議員の得意分野)
- 復旧に向け、必要に応じて議長がリーダーシップをとり県や国への要望を挙げること。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



申し合わせ様式第2号

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

☆気遣い・心遣い・その他のポイント

- ・要援護者の支援と傷病者をどうするか。妊婦や乳幼児への気遣い
- ・ご遺体の対応 (ご遺族の感情に配慮すること、心のケア)
- ・し尿や廃棄物の処理や、キャパオーバーの場合の対策
- ・被災をした後の復興期、行政や議会は他市からの視察を面倒と思わず受入れ、現状を見てもらうことも重要 (十分な対応は難しいが、来訪市は応援団になってくれる)
- ・非常時、精神的にも体力的にも追い込まれている職員を守ることも議員の仕事である。決して追い込む側にならないこと。
- ・計画を立てる場合は、必ず目標 (値) を掲げること。
- ・行動に移して失敗しても、原因を追究し見直せば、それは失敗ではない。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |

平成30年7月23日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 幸彦

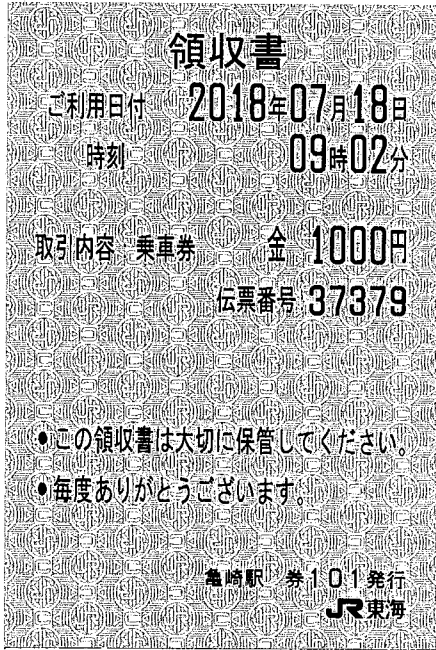
タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

① ③



②

領収証

No.

平成30年7月18日

鈴木 幸彦 様

金額 ¥25,000

| | |
|------|--|
| 内 | |
| 消費税等 | |
| 現金 | |
| | |
| | |

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



係

平成30年 7月27日

政務活動費成果届出書

届出者 小出 義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

自治体防災と議員の取組み

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会 BCP (災害時における議員の初動対応) について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対し、議会及び議員個々が何をしなければならないか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修に於いて危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ確かな動きとは何か、それらを習得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

【達成できた】

以下の認識を持つことができた

- ・災害発生時のマネジメントについて
- ・災害発生時の議員の役割

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

改善ポイントとは以下の項目を挙げることができる

半田市に対しては、以下の点を提言する。

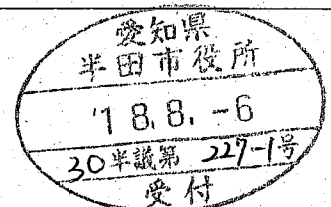
- ・災害発生時は、「非常時対応マニュアル」以上に危機時に対応できる人材が必要。
- ・ノウハウのある人材が、マネジメントを担う体制づくりが必要。
- ・特定の自治体間で、連携を強化しておくこと。

議員及び議会については、以下の点が重要であると考えます。

- ・大規模災害発生時は議会災害対策会議を設置する。
- ・議員は、参集指示があるまでは地域の救援活動に従事する。
- ・地域活動を通して、地域の災害情報などを収集し対策会議に報告する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



平成30年 7月 27日

領収書等貼付用紙

議員名 小出 義一

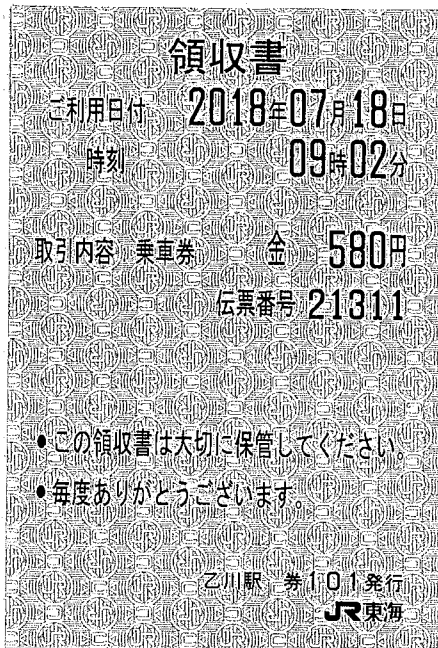
タイトル

自治体防災と議員の取組

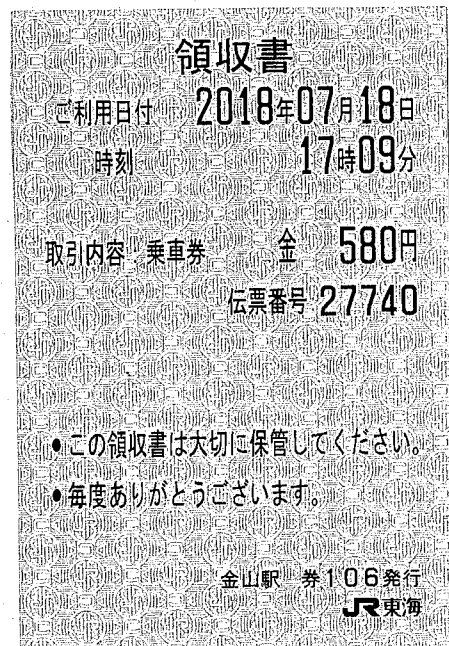
1枚中 1枚目 (別紙「ホテル宿泊費」)

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

①



②



③

領収証

No.

平成30年7月18日

小出 義一 様

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

収入印紙

係



平成30年7月27日

政務活動費成果届出書

届出者 山田清一

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

おおむね達成できた。大災害に備え、議会及び議員のあり方についてイメージすることができ、災害対応への認識を深めることができた。

- ・災害時の議会、議員の役割として ①地域での支援活動 ②情報収集と災害対策本部への提供(窓口を議長に一元化する)、災害対策本部の情報等の住民への提供及び情報発信
- ③視察の受け入れ(執行機関の負担軽減) ④議会・議員の政治力を活かして国や関係機関へ要望活動などの推進が必要である。
- ・議会及び議員が災害時に適切に行動するためのルールが必要であり、マニュアルを策定し大災害への備えが大切である。
- ・災害後は、情報収集・共有・発信が重要であり、議員もその役割を担う必要がある。
- ・災害後の議員の役割は、被災地、被災者支援が中心である。
- ・災害時には議長のリーダーシップが重要であることを再認識した。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・平成29年6月19日施行の水防法・土砂災害防止法改正により、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練が義務となったため、実施されているか確認が必要である。
- ・高齢者の災害関連死を防ぐ対策を準備しておく必要がある。
- ・大規模災害時の災害対策本部での会議は、審議事項のみとし、報告は紙で行う。また、市長はマスコミ対応と高度な政治要求へ力を注ぐ。



| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |

申し合わせ様式第2号

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・「正常化の偏見」は、災害時において、目の前に危険が迫ってくるまで、その危険を認めようとしなない人間の心理であり「自分は大丈夫」という危険を無視する心理。自らの命を守るためには、正常化の偏見を打ち破らなければならない。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |

平成30年7月27日

領収書等貼付用紙

議員名 山田清一

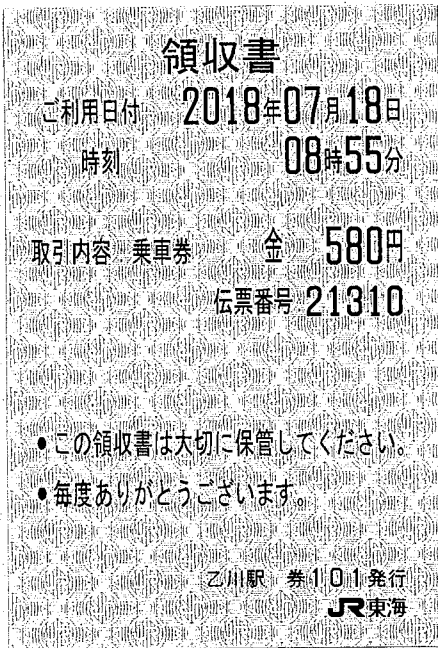
タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

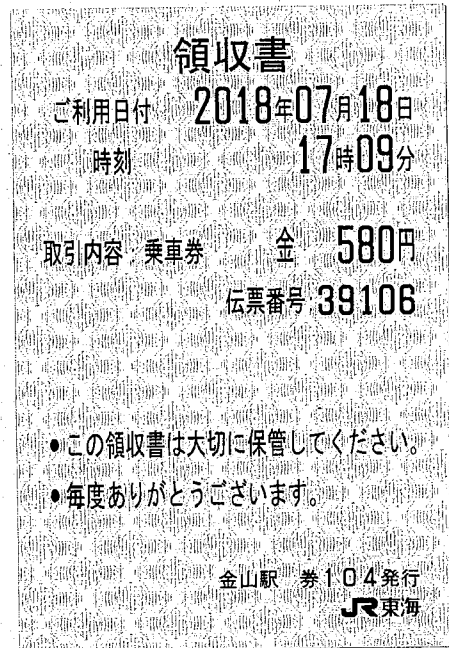
1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①



③



②

領収証

No. _____

平成30年7月18日

山田 清一 様

| | |
|----|---------|
| 金額 | ¥25,000 |
|----|---------|

| | |
|------|--|
| 内 | |
| 消費税等 | |
| 現金 | |
| | |

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



平成30年7月20日

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 好美

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

(達成できた)

「自治体防災について」

- ・津波、土砂災害が起きなくても学ぶ意識が必要。
- ・地域格差があるがルールを決める。
- ・自分は大丈夫との意識改革が必要。
- ・高齢者や障害のある方々への避難は地域住民で早めの対応が必要
- ・高齢者、障害者の方々や福祉施設等の避難訓練を地域住民と一緒に災害計画など作成が必要であるが何か問題があれば何度でも時間がかかっても見直しが必要。
- ・従来からの共助から(近所)と言う考えが必要であり近所、福祉、消防団、自主防災会などコミュニティ活動、防災訓練を実施することが必要。
- ・(近所)が強くなれば自助も新たな共助も公助も強くなる、顔の見える取組みが必要。

「議員の取組みについて」

- ・安否確認の徹底(議会事務局)に、また連絡方法はSNS、議会LINEグループの設定。
- ・議員の初動対応は地域住民と共に支援行動、活動をする、情報の収集や連絡態勢の確保に努めるが出しゃばる行動はしてはならない。
- ・議会災害対策会議の必要な事項を定める。
- ・議長を災害対策本部に常駐して議員からの情報を明確に市長との連携を取る。
- ・議会、議員の災害時のルール決めが必要、議員自身の知識、行動力向上、地域との関係を明確化(BCP)作成、条例など作成が必要。
- ・議会として災害特別委員会を設置して議員活動の徹底、情報収集、発信、共有など明確に一元化。

| | | |
|-----|----|-------|
| | 議長 | 管理委員長 |
| 確認欄 | | |



申し合わせ様式第2号

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・高齢者、障害者の方々や福祉施設等の避難訓練を地域住民と一緒に災害計画など作成が必要であるが何か問題があれば何度でも時間がかかっても見直しが必要。
- ・従来からの共助から(近所)と言う考えが必要であり近所、福祉、消防団、自主防災会などコミュニティ活動、防災訓練を実施することが必要。
- ・安否確認の徹底(議会事務局)に、また連絡方法はSNS、議会LINEグループの設定
- ・議会、議員の災害時のルール決めが必要、議員自身の知識、行動力向上、地域との関係を明確化(BCP)作成、条例など作成が必要。
- ・議会として災害特別委員会を設置して議員活動の徹底、情報収集、発信、共有など明確に一元化。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・テーブルワークショップ形式の新しい取り組みでの進め方(ワールド・カフェ)
約4人で課題や内容をA2用紙にポストイットに書き貼り付ける、出来上がると1人残り後のメンバーが違いテーブルに移動して他のテーブルの内容を違いメンバーで話し合いをして新たな情報を収穫して又、元のテーブルに戻り共有、共感しアイデアをだすワークショップは勉強になった。

| | | |
|-----|----|-------|
| | 議長 | 管理委員長 |
| 確認欄 | | |

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時間 | 内容 | | 金額 (円) | 領収書 No. |
|------|-------------|-------------------------|-----|--------|------------|
| 7/18 | 9:08~9:38 | 半田口—金山 (名鉄河和線) | 運賃 | 550 | ① |
| | 10:00~17:00 | 研修会受講「自治体防災と 議員の取組み」 | 受講料 | 25,000 | ② |
| | 17:15~17:45 | 金山—半田口 (名鉄河和線) | 運賃 | 550 | ③ |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | 合計 | 26,100 | |

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 好美

タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

③

領収書

利用日時 2018年-7月18日 09:02
取引内容 乗車券等発売
利用金額 金550円

この控えは大切に保存してください
名古屋鉄道

半田口(01)

領収書

利用日時 2018年-7月18日 17:11
取引内容 乗車券等発売
利用金額 金550円

この控えは大切に保存してください
名古屋鉄道

金山(12)

②

領収証

No. _____

平成30年7月18日

鈴木 好美 様

金額

¥25,000

内
消費税等

現金

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

収入印紙

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係



政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

達成できた。

- ・災害を最小限に食い止めるには、「自分は大丈夫」という正常化の偏見を打ち破ることで、そのためには、率先避難の行動をとることが重要となる。
- ・自治体BCPではどんなマニュアルを作るかよりも、危機時に対応できる人間をすることで、そのためには、職員間でのマニュアル作りで人づくりを行い平時の人間力・組織力を高め、繰り返し考え、訓練し、備えることが重要となる。
- ・地域防災のポイントは、近助が強くなれば、自助も新たな共助も公助も強くなる。
- ・福祉施設には、実際にBCPができていない。
- ・災害時における議会・議員の役割と取組みでは、議会・議員の行動及び活動のルールを決めておくことが重要となる。
- ・東京都板橋区議会では、3年間かけて災害対策会議設置要綱と災害対応方針を作成し災害時の準備に当たっていた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・自治体BCPでは、危機時に対応できる人間を作るために、職員間でのマニュアル作りで平時の人間力・組織力を高めることは参考になる。
- ・地域防災のポイントでは、近助を強くすることに重点を置いた対策が必要となる。
- ・災害時における議会・議員の役割と取組みでは、東京都板橋区議会を参考にして、半田市議会版の災害対策会議設置要綱や災害対応方針を議論の中で作成していく。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



申し合わせ様式第2号

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・半田市内の福祉施設のBCP策定状況の確認が必要。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時 間 | 内 容 | | 金額 (円) | 領収書 No. |
|------|-------------|-------------------------|-----|--------|------------|
| 7/18 | 9:08~9:40 | 半田口—金山 (名鉄) | 運賃 | 550 | ① |
| | 10:00~17:00 | 研修会受講「自治体防災と 議員の取組み」 | 受講料 | 25,000 | ② |
| | 17:15~17:48 | 金山—半田口 (名鉄) | 運賃 | 550 | ③ |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | 合 計 | 26,100 | |

平成30年7月20日

領収書等貼付用紙

議員名 山本半治

タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

③

領収書

利用日時 2018年-7月18日 09:02
 取引内容 乗車券等発売
 利用金額 金550円

この控えは大切に保存してください
 名古屋鉄道 半田口(01)

領収書

利用日時 2018年-7月18日 17:11
 取引内容 乗車券等発売
 利用金額 金550円

この控えは大切に保存してください
 名古屋鉄道 金山(09)

②

領収証

No.

平成30年7月18日

山本 半治 様

金額 **¥25,000**

内
消費税等

現金

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

収入印紙

係



政務活動費成果届出書

届出者 加藤美幸

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修** 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・講義を聴いた後、行動を起こさねばならないとの動機づけを与えられ、十分に有意義な研修であり目的は達成された。講師の鍵谷氏は板橋区役所防災課長や福祉事務所長の経験やその後の防災や危機管理への取り組みなどから、「板橋区議会災害対応方針および板橋区議会災害対策会議設置要綱」を定められ、自然災害が続発する日本において、いかに減災へと導くかの事例や大切なキーポイントを学ばせていただいた。

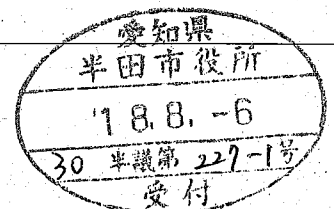
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・半田市議会は大規模災害発生時に自治体ごとに設置される「半田市災害対策本部」に対し、議会や議員の役割や立場を明確にし同じ方向性で協力するために、まずは平時に「半田市議会災害対応方針」を定め、発災時に設置する「半田市議会災害対策会議」のための設置要綱の検討をなるべく早い時期にとりかかるべきと考える。議会事務局は市議会の事務局としてこれらを行うための庶務として役割を担うべきと考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・東日本大震災、熊本地震、九州豪雨災害の記憶が新しいところだが、この夏の大阪北部地震、岐阜県や西日本豪雨災害はまさに今起きている災害であり、被災者や現地を支援すると同時に、次は半田市が被災するものと考え、いかに減災するか、そのためにどうすればいいのか、議会の役割を早急に明確化する必要がある。まずは我々議員が被災地へ足を運び、多様な状況と時間の経過による変化を目と心に焼き付け、学ばせていただくことが肝心であると気づかされた。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時間 | 内容 | | 金額 (円) | 領収書 No. |
|------|-------------|---------------------|-----|--------|---------|
| 7/18 | 8:56~9:25 | 住吉町—金山 (名鉄急行) | 運賃 | 600 | ① |
| | 10:00~17:00 | 研修会受講「自治体防災と議員の取組み」 | 受講料 | 25,000 | ② |
| | 17:15~17:39 | 金山—阿久比 (名鉄特急) | 運賃 | 600 | ③ |
| | 17:41~17:46 | 阿久比—住吉町 (名鉄普通) | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | 合計 | 26,200 | |

領収書等貼付用紙

議員名 加藤美幸

タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

③

領収書

利用日時 2018年-7月18日 08:50
取引内容 乗車券等発売
利用金額 金600円

この控えは大切に保存してください
名古屋鉄道

住吉町(11)

領収書

利用日時 2018年-7月18日 09:28
取引内容 乗車券等発売
利用金額 金600円

この控えは大切に保存してください
名古屋鉄道

金山(12)

②

領収証

No. _____

平成30年7月18日

加藤 美幸 様

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

収入印紙

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係



政務活動費成果届出書

届出者 中村宗雄

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修** 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。
私自身が東海豪雨の経験はしたが、それ以上の地震災害などの大規模災害を経験したことがないなかで、「災害対応とはどのような物なのか?」(答え:負け戦の負けを減らす事)、「逃げれば助かる災害においても、なぜ人は逃げないのか」(答え:人には正常化の偏見が備わっている為)など、災害対応の本質的な部分を学ぶことが出来た。

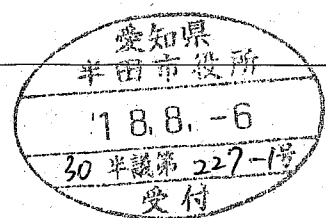
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・半田市が行っている縦割りの防災訓練は社会資源を十分に活用できないので、改善すべき。
- ・これからの応急対策マニュアルは、「誰が命令するのか?」、「目標は何か?」など時系列的に大きな目標を事前に決め、初動マニュアルと実務マニュアルを備える必要がある。
- ・非常時優先業務は、災害発生時には通常業務を犠牲にしてでも住民の生命、身体、財産に大きな影響を与える業務を優先すべきだ。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・災害時における議会のあり方は、法制度も実態も役割も明確でなく先行研究もないが、一番大切なのは人命であり、何が何でも議会BCPが大切なわけではない。
- ・業務継続計画を作る場合に、「どのようなマニュアルを作るか?」ではなく、「危機時に対応できる人間をどう作るか?」などのマニュアルが対応できない事への対応力が一番重要なので、そのような職員教育をするべきと考える。

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



平成30年7月31日

領収書等貼付用紙

議員名 中村 宗雄

タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

| | | |
|----------------------|--------------------------------|-------|
| 領 収 書 | | 70044 |
| 中村 宗雄 | | 様 |
| 金額: | 1200円 | |
| ただし、 乗車券代として | | |
| 上記の金額確かに領収いたしました。 | 印紙税申告納 付につき名古屋中村 税務署承認済 | |
| 種別：現金 | 名古屋鉄道株式会社 知多半田発行 印 01001 | |
| 2018年-7月18日 09:00 | | |

②

領収証

No. _____

平成30年7月18日

中村 宗雄 様

| | |
|----|----------------|
| 金額 | ¥25,000 |
|----|----------------|

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

| | |
|------|--|
| 内 | |
| 消費税等 | |
| 現金 | |
| | |

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係



平成30年7月27日

政務活動費成果届出書

届出者 石川英之

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP (災害時における議員の初動対応) について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

達成出来たと思います。
理由としては、逃げられない意識=正常化の偏見「自分は大丈夫」を打ち破る同調性バイアスでみんなを巻き込む
人と同じ行動を取る事により安心を得る→率先避難者になる。
地区防災マネジメント
応急対策期、復旧・復興期の議会、議員の活動ルール等を学んだ事です。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

大規模災害時において、まずは議員自らが率先避難者となるべきである。
議会はサイレントタイムを設ける
(災害対策本部が行動中、議員個人も含め発言により混乱を招く恐れがある)

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



平成30年7月27日

領収書等貼付用紙

議員名 石川 英之

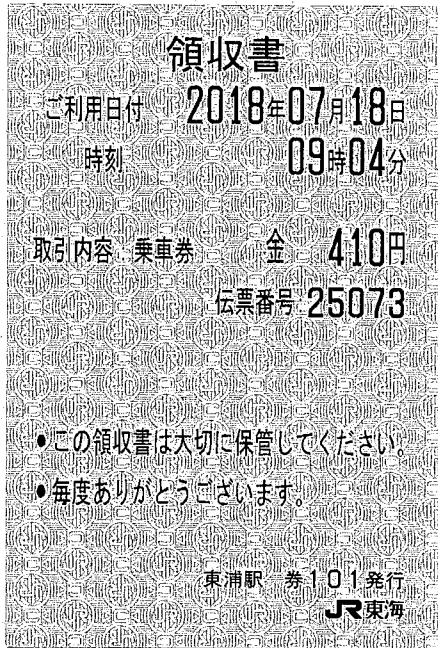
タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

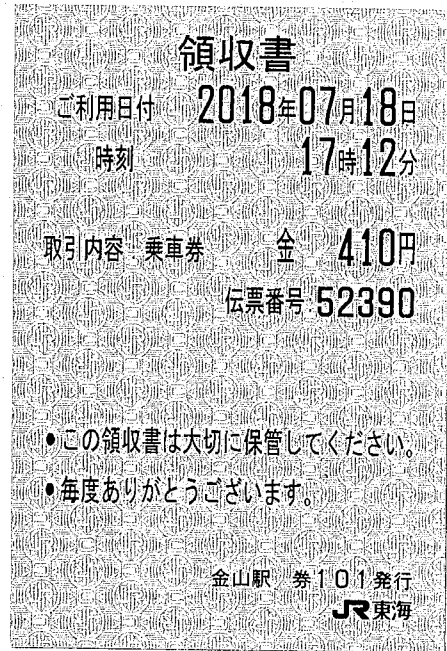
1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

①



③



②

領収証

No.

平成30年7月18日

石川 英之 様

金額 ¥25,000

| | |
|------|--|
| 内 | |
| 消費税等 | |
| 現金 | |
| | |
| | |

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



係

平成30年7月27日

政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

昨年度も議会BCP(災害時における議員の初動対応)について勉強したが、今後近い将来発生すると予想される大災害に対して、議会および議員個々が何をしなければならないのか、今一度しっかり認識する必要がある。今回の研修において、危機管理に精通された鍵屋講師の研修会を受講することにより、より明確でかつ的確な動きとは何か、それらを取得することを目的とする。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

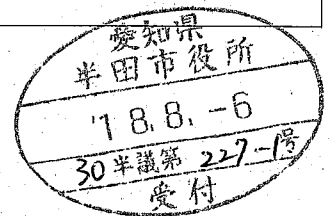
目的は達成できた。要支援者支援の、医療支援、遺体対応、し尿処理、廃棄物処理それぞれのポイントを学ぶことができた。
宮城県東松島市議会での東日本大震災時、実際の行動記録を基にワークショップを行い具体的な対応のイメージがわいた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

半田市議会基本条例では、災害時の対応を示しているが、他市町では要綱を作っている市町(東京都板橋区「災害対策会議設置要綱」)もあります。半田市として必要性も含め検討の必要あると思います。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

| | | |
|-----|----|-------|
| | 議長 | 管理委員長 |
| 確認欄 | | |



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時間 | 内容 | | 金額 (円) | 領収書 No. |
|------|-------------|-------------------------|-----|--------|------------|
| 7/18 | 9:10~9:38 | 知多半田—金山 (名鉄) | 運賃 | 600 | ② |
| | 10:00~17:00 | 研修会受講「自治体防災と 議員の取組み」 | 受講料 | 25,000 | ① |
| | 17:30~18:00 | 金山—知多半田 (名鉄) | 運賃 | 600 | ② |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | 合計 | 26,200 | |

平成30年7月27日

領収書等貼付用紙

議員名 澤田勝

タイトル

研修会受講「自治体防災と議員の取組み」

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

領収証

No.

平成30年7月18日

澤田 勝 様

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 7月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

〒112-0011

収入印紙

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係



②

領 収 書 70043

澤田 勝 様

金額： 1200円

ただし、
乗車券代として

上記の金額確かに領収いたしました。
種別：現金

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

名古屋鉄道株式会社
知多半田発行 印
01001

2018年-7月18日
08:58